

会 告

石油技術協会 令和3年度 秋季講演会 「脱炭素社会への移行に向けた石油開発産業の課題」

主 催：石油技術協会

協 賛：(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構，石油鉱業連盟，天然ガス鉱業会，(公社)石油学会
(公社)物理探査学会，(一社)日本エネルギー学会，(一社)資源・素材学会，海洋調査技術学会
(一社)日本地質学会，日本地熱学会，日本地層評価学会

日 時：令和3年10月22日(金) 13:00～18:05

場 所：オンライン開催 当日のライブ配信および後日オンデマンド配信(1週間)

参加費：2,500円：石油技術協会会員，賛助会員・協賛団体(所属者)

3,500円：その他

無 料：学生(会員/非会員)

参加申し込み：登録サイトを開設致しますので，そちらからお申し込みください。登録サイト URL は技術協会 HP にて後日お知らせいたします。

参加費支払いはクレジットカード決済または銀行振り込みと致します。

プログラム

開 会：13:00

挨拶：13:00～13:10 石油技術協会 会長 岩田 尊夫

●秋季講演会テーマ「脱炭素社会への移行に向けた石油開発産業の課題」

1. 13:10～13:55(45分)(基調講演)

「脱炭素社会に向けた政策の動向やポストコロナのエネルギー資源の見通し」

日本エネルギー経済研究所 環境ユニット 気候変動グループ 田上 貴彦 氏

2. 13:55～14:40(45分)「石油開発産業のエネルギートランジション対応」

独立行政法人石油天然ガス・鉱物資源機構 調査部 古藤 太平 氏

3. 14:40～15:25(45分)「CCS, CCUS の地下貯留の法的課題」

西村あさひ法律事務所 資源エネルギーチーム

パートナー弁護士 紺野 博靖 氏

— 休憩(15:25～15:40) —

4. 15:40～16:25(45分)「CCS の社会受容性について」(仮題)

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

CO₂貯留研究グループリーダー 薛 自求 氏

5. 16:25～17:10(45分)「二酸化炭素貯留適地調査事業の概要と現況について」

日本 CCS 調査(株)地質調査部長 渡部 克哉 氏

6. 17:10～17:55(45分)「INPEX が取り組む CCU 技術の現状と課題～ NEDO-CO₂ 有効利用技術開発事業を通して～」

(株) INPEX 再生可能エネルギー・新分野事業本部

プロジェクトジェネラルマネージャー 若山 樹 氏

17:55～18:05 「まとめ」

石油技術協会 副会長 小寺 保彦

閉 会：18:05

備 考

- ・講演要旨は協会ホームページに掲載します。
- ・講演者の希望によりオンデマンド配信不可となる場合がございます。

お問い合わせ先：東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 17 階
石油鉱業連盟内 石油技術協会
TEL：03-3214-1701 FAX：03-3214-1703